

創造・誇り・愛！ 輝く七中 ^{きら}煌めけ生徒！！



とちのき

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

TEL (042) 531-0511 FAX (042) 531-6103

立川市立立川第七中学校

校長 水越 伸朗

学校だより

第2号

令和6年5月15日



七中 HP URL

適切なSOSの出し方

副校長 永島 友和

新年度が始まり1か月が過ぎました。1年生も部活動に本入部し、3学年そろって活動しています。運動会練習が始まり、放課後に子どもたちが熱心に練習に取り組んでいます。運動会練習が始まると、いつも以上に体力を使います。気温も高くなってくる時期でもありますので、水分を多めに持参する、食事をしっかり摂る、睡眠時間を十分確保する等、体調管理にもご協力をお願いいたします。

また、現在、新体育館建設工事が行われています。仮設体育館の渡り廊下がグラウンドを狭めていることもあり、使用できる校庭範囲が狭くなっています。そのため、次の2点をご理解、ご協力いただくと助かります。1点目は、運動会は競技種目を厳選し、時間を短縮して午前中の開催となります。2点目は、新設体育館建設工事により、駐輪場所も限られているため、運動会にご参観の際は、無理のない範囲で構いませんが、徒歩でお越しください。

さて、前回の朝礼で子どもたちに心のSOSについて話しました。運動会を前に張り切っている子どもたちがほとんどですが、大きな行事を前に子ども同士の間関係もさらに成長していくところです。そこには様々な葛藤や困難に直面することもあるかと思えます。ご家庭でもお子様の取り組んでいる様子を見守り、心のSOSに耳を傾けていただければ幸いです。

～朝礼（5月9日）講話より抜粋～

今日は「適切なSOSの出し方」についてお話をします。

ゴールデンウィーク中に交通事故や大きな病気などでトラブルありませんでしたか。もし、何か困った事態に陥ったことがあった時、保護者の方々をはじめ身近な大人に相談できただけでしょうか。

交通事故や病気は誰から見てもすぐわかるトラブルです。周りの人たちが気付いてすぐに手を差し伸べてくれると思います。しかし、なかなか他人からはわからないのは、友人関係やSNS上のトラブルなど、内面、心のトラブルです。

新学期に入っておよそ1か月が経って、張り切っていた心と一休みしたい気持ちが入り混じる時期だと思います。各学級の後ろには学級目標から個人目標までさまざまなことが貼ってあるのを見ました。どれも立派な目標でした。この自分たちで設定した目標に達するよう努力してほしいと願っています。

しかしながら、理想の自分像をもって、目標に向かって頑張っている以上、理想通りにならないことや頑張り過ぎて疲労感を感じることもあるかもしれません。このような時に、悲しい気持ちや、不安や無気力に襲われる、すぐにイライラするといったネガティブな気持ちが長く続くようなら、一人で抱え込まずにお友達やご家族、担任や学年の先生など身近な信頼できる人に相談しましょう。相談したら、すぐにその人が問題を解決してあげられるとは限らないけれども、困っている自分をそのままにしないことが大切です。自分のことは自分が一番大切にしてください。また、必ず自分の苦しさをわかってくれる人がいると信じて、自分の気持ちに寄り添って適切にSOSを出すことを大切にしてください。